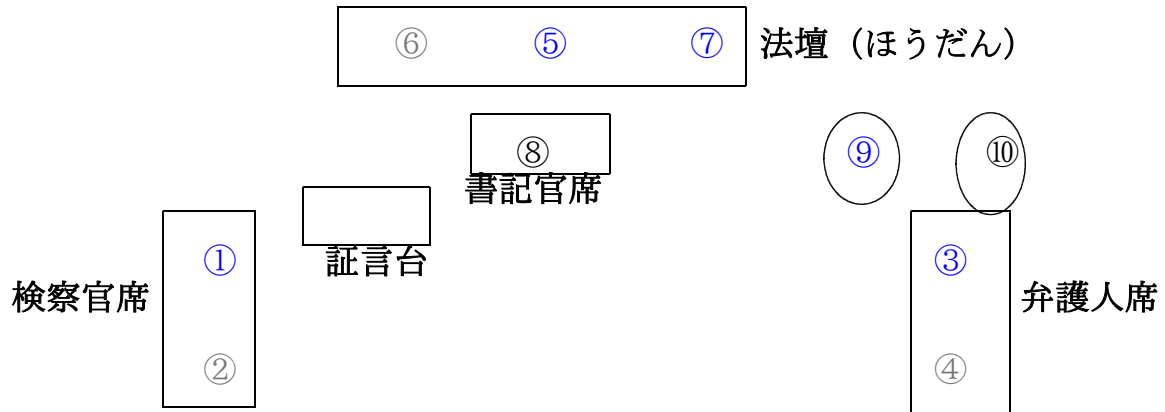


罪のゆくえ2話 登場人物プロフィール



| | | |
|---|--|---|
| ① | 検事 筒香 嘉智 (つつごう よしとも) | 切れ者の豪腕検事。法廷の隅々まで通る声で被告人を糾弾する。 |
| ② | 検事 一 真実 (にのまえ まこと) | 元気で澆刺とした女性検事。観察力に長け、行動力があり、俊敏である。 |
| ③ | 弁護人 頼沢 守 (よりさわ まもる) | 鋭い推理力を持つ才能溢れる弁護士。これまで多数の無罪事件を勝ち取る。 |
| ④ | 弁護人 柳瀬 真 (やなせ まこと) | 頼沢弁護士と同じ事務所に所属する女性弁護士。好奇心が強く、観察力も鋭い。鋭い質問で証人を責め、真実を暴く。 |
| ⑤ | 裁判長 赤川 尊 (あかがわ たける) | 刑事事件に精通するベテラン判事。口調は優しいが不正には厳しい一面がある。明快な訴訟指揮をする。 |
| ⑥ | 右陪席 元木 海人 (もとぎ かいと) | 悪に厳しい厳格な規律を好む裁判官。被告人は有罪との心証を抱く。 |
| ⑦ | 左陪席 氷室 涼太 (ひむろ りょうた) | 新進気鋭の判事補。人権を守るという意識が強いクールな理論家。被告人の有罪に合理的な疑いがあるとの心証を抱く。 |
| ⑧ | 書記官 黒羽 子音 (くろば しおん) | 真面目でおちゃめな書記官。模擬裁判の進行を華やかにつかさどる。 |
| ⑨ | 被告人 伊月 駿一郎 (いつき しゅんいちろう) | 著名な電機メーカー「松芝」の研究所長。社内倫理委員会の委員長も務める。被害者の頭部をワインの瓶で殴ったことは認めるが、破片でとどめを刺したことは否認し、被害者がナイフで切りつけてきた理由は黙秘する。 |
| ⑩ | 拘置所職員 桜田 武雄 (さくらだ たけお) | 謹厳実直な性格。被告人が逃亡をしないよう監視の目を光らせる。 |
| ⑪ | 証人 根岸 夕 (ねぎし ゆう) | 死亡した被害者 (藤馬悠一) の第1発見者。生い立ちに暗い過去があり、被告人に憎しみを抱いている。 |
| ⑫ | 証人 上条 博 (かみじょう ひろし) | 被害者の第2発見者。被害者の助手であり、根岸夕の婚約者である。被害者からあることで叱責されていた。 |
| ⑬ | 証人 天田 満 (被害者、被告人の共通の友人であり、被害者の納税を担当していた税理士。あることを発見する。) | |